

ソフトウェアサイエンス実験 A・B
情報システム実験 A・B
知能情報メディア実験 A・B

テーマ選択と採点基準について

◆ テーマ選択について

1. 「テーマ」とは、S（ソフトウェアサイエンス実験）、K（情報システム実験）、T（知能情報メディア実験）の各課題を指す。
※enPiT のテーマ（C-2）もある。また、キャンパス OJT のテーマ（COJT）を履修することで主専攻実験の単位を取得することが可能である。
2. 学期ごとに 1 テーマを選択し、1 年間で合計 2 テーマを履修する。
3. **希望するテーマを選択してよい**。ただし、同じテーマを 2 度以上選択することはできない。
4. キャンパス OJT テーマ履修の場合は COJT、単位取得済みの場合は PASS を選択すること。
なお、enPiT のテーマ（C-2）履修については、ガイダンス時の説明に従い選択すること。

希望するテーマを、manaba 上の本実験のコースにて登録すること。学期ごとに第 3 希望まで、合計 6 つ（必ず第 3 希望まで）を記入すること。

受付期間： 4 月 15 日（水）ガイダンス終了後 ～ 4 月 17 日（金）17 時まで
テーマ振り分け結果発表： 4 月 21 日（火）

なお、第 3 希望まで含めてもテーマが決まらなかった学生には、4 月 20 日（月）14:00 頃にその学生のメールアドレス（@u.tsukuba.ac.jp）にメールで通知するので、4 月 20 日（月）17:00 までに返事をする。返事がない場合には、実験世話人に一任されたと判断する。

*** 履修登録の際の科目名は、どのテーマを選ぶかとは無関係であり、自身が配属希望する主専攻名がついた実験 A,B を履修登録すること。**

（例）ソフトウェアサイエンス主専攻希望の学生 ⇒ ソフトウェアサイエンス実験 A, B

◆ 採点基準について

最近レポートの未提出や提出遅れが目立っており、そのために D の評価が増えている。学生の自覚を求める。また、他人のレポートをそのまま、あるいは改変・コピーして提出した場合は不合格とする。

1. 採点は、出席とレポートの成績によって行う。
2. **出席は毎回取る。具体的な方法は、実験担当教員の指示に従うこと。**欠席が 2 割を越す（6 回以上）と不合格となる。病気などの特別の事情がある場合には、必ず欠席届を実験担当教員に提出すること。
3. レポートは「定められた期間内に、定められた場所に、一定のレベル以上の」ものを提出した場合にのみ、評価が受けられる。文章やデータ・プログラム等を他人からコピーしたと見られるレポートは不合格とする。**提出締切は厳守すること。**
4. **卒業研究履修のためには、所属する主専攻の実験すべて（**実験 A, B）の単位を取得している必要がある（**は、ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディアのいずれか）。**